

熊本地震の教訓を活かした 地区防災計画の取組

2020年3月21日

熊本市秋津校区防災連絡会

会長 濱砂 名言

事務局長 吉住 洋三



平成28年4月熊本地震の被害

- 震度7クラスの地震がわずか28時間の間に2度も発生し、その後も半年間で余震が4,000回を超えるという国内観測史上初の大災害であった。
- 震源地である益城町に隣接する秋津校区も甚大な被害を受け、防災意識の啓発や訓練の大切さ、被災者が被災者を支援することの難しさを痛感し、今後の教訓となった。

ブルーシートの屋根がつづく熊本市東区周辺(5月4日)



1階ロビーに避難する市民病院の患者たち
(4月16日午前4時10分頃 / 熊本市東区)



秋津校区の家屋倒壊



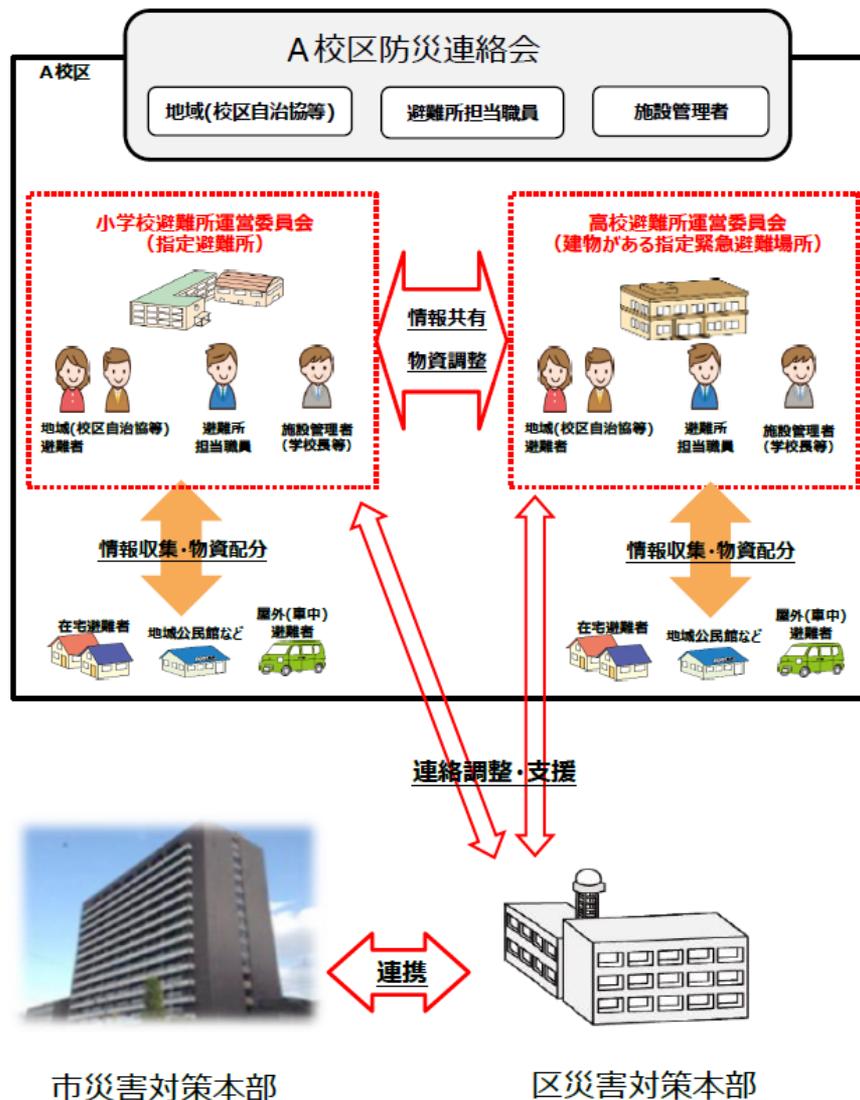
熊本城天守石垣の崩落

校区防災連絡会とは

校区防災連絡会・避難所運営委員会の体系

- 校区防災連絡会は、地域・施設管理者・避難所担当職員で構成され、平時から地域と行政との顔が見える関係を築き、大規模災害発災時の初動体制の構築を図ることを目的としている。

- 避難所運営委員会の設置・避難所運営マニュアルの作成・校区防災訓練の実施など、地域と行政が連携した様々な活動を通して、地域防災力の向上に努めている。



秋津校区の取組

- 平成30年4月、市の指定避難所の運営と地域の防災意識の向上を目指し、「秋津校区防災連絡会」を設立。
- 住民との密着度が強く、信頼も厚い、地域思いのメンバーが集まり、会議を重ね、平成31年4月には、秋津小学校と合同で大地震を想定した避難訓練を実施。千人を超える参加があった。



保護者引き渡し訓練



小学校避難訓練



保育園避難訓練



福祉避難所連携訓練

熊本地震の教訓と課題の抽出

- 熊本地震の際に災害対応にあたった地域の方、災害対応にあたった行政職員、未成年の子供と同居していた保護者へ内閣府がヒアリング(一日前プロジェクト)を実施し、教訓と課題を抽出した。

一日前プロジェクトの様子(地域の方グループ)



一日前プロジェクトの様子(保護者グループ)



「一日前プロジェクト」とは、地震や水害などの自然災害で被災した方や災害対応の経験をもつみなさまにお集りいただいて、「被災前の行動」「もう一度災害が発生したならば、次はどのように行動したいか」「日頃から何を準備しておけばよかったか」「体験を通じて上手いことと思うこと、失敗したと思うこと」といったお話を聞かせていただき、そこから導き出される教訓や身につまされるお話を小さなエピソードにとりまとめる活動です。

地区防災計画作成の取組

- ・ 内閣府から地区防災計画策定支援地区に選定され、本計画の策定に向けた取り組みを開始した。
- ・ 地震に加え、校区内の河川の洪水対策も検討。内閣府の関係者からも助言をいただいたことは、秋津校区の地域環境に特化した計画策定に大きなプラスとなった。

ワークショップの様子



発表の様子



これから

秋津校区に居住される皆さんには「**自助**」意識を積極的に啓発し、
秋津校区防災連絡会がそれに応える安心の受け皿、
そして地元根差した防災組織を継続するため、
行政と一体となり災害の備えを推進していきます！

